

日時	2025年 5月 3日 (土) 10:15 ~ 12:00 天候：晴
場所	なにわ ECO スクエア 1 階研修スペース、自然体験観察園・実生林

講座・活動名	実生林創生プロジェクト
参加者	8名(うち子ども 名) 構成:一般参加 名、エコボラ 8名、事務局 名
講師名	(エコボラの場合氏名に * 印をつける)
内容	実生林創生のための活動、毎木調査、生き物調査、柵修理
使用器材 資材・道具	(持参、借用等も含む) ハサミ、ノギス、メジャー、ジャーマンメジャー、30mメジャー、ロープ、鎌、かけや、札、調査用紙
振り返り エコボラ通信に 掲載することが あります。	<ul style="list-style-type: none"> ・作業開始時刻が繰り上がったので、調査のほか、下草刈りの余裕もできた ・実生林や雑木林内は、気温が上がりにくく、前日の降雨のせい、ひんやりしていた ・野草広場との境界の竹柵に、タケクマバチが営巣していた。攻撃はしてこないが、穴に指を入れると刺されることがあるので、りんくう北中さんと情報共有した ・子ども連れの来園者が、クワガタムシが採れるかもしれない場所だと、雑木林内を散策していたのは、それなりの環境を整えてきた成果である ・下草が伸びていたので、かき分けないとノギスで測れなかったのと、葉がしげって樹高測定が難しい状況になってきた ・樹木苗が隠れそうな勢いの下草はある程度刈ったが、花が終わり枯れると、緑陰が深くなるため新たな下草は生えてこなくなると思われる ・毎木調査の計測対象外のエノキ、アキコシなどの実生が急に大きくなったものがあるので、より一層、林らしくなってきた
次回案内 毎月第1土 曜 9:45 集合	30分程度、野草広場で草刈りをした後、実生林・雑木林での作業をします。樹木の成長を記録する「毎木調査」と下草刈りや、雑木林周囲の落ち葉止めのための竹柵の補修を分担して行います。作業は 11:30 まで。エコボラ会議にて、作業内容の報告と打合せをすることがあります。軍手をご持参ください。必要人員 7~8 名程度

スタッフ氏名	活動内容	スタッフ氏名	活動内容
高橋満子	毎木調査、下草刈り	西田敏子	植物調査
中村有希	毎木調査	北川ちえこ	植物調査
木山正隆	竹柵修理とロープ補修	林耕太	植物・野鳥調査
竹原秀樹	竹柵修理とロープ補修		
柘元慶子	毎木調査、下草刈り		

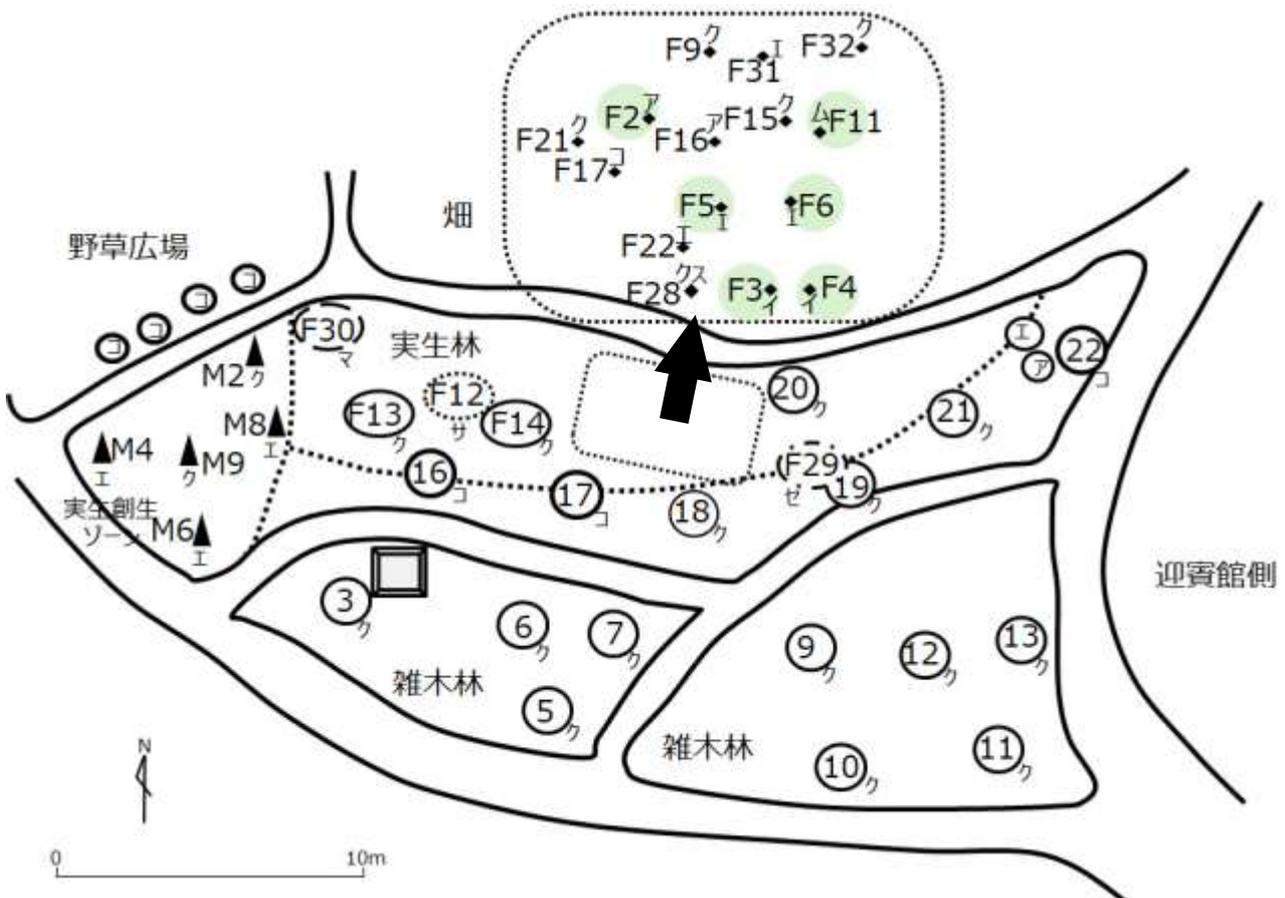
いずれかに○→ (○) 裏面に図面、写真等を添付した () 裏面なし () 詳細はファイルで提出

図面・写真等 添付面

日時	2025年5月3日(土)	記録者	高橋満子、中村有希、柘元慶子
講座・活動名	実生林創生プロジェクト		

毎木調査結果 (EXCEL 原票から表を貼り付ける)

Code	樹種	樹高cm	地面10cm 幹直径 mm	備考	Code	調査年月日		250503	
						樹種	樹高cm	幹直径mm	備考
F002	アキノレ	1073	225.4	▼3本まとめて周囲cm	F017	コナラ	83	8.5	消えたと思われたが葉が出た
F003	イヌビワ	220	39.0		F021	クヌギ	134	16.4	消えたと思われたが葉が出た
F004	イヌビワ	387	47.8		F022	エノキ	100	5.6	枯れたか
F005	エノキ	1157	100.5	▼	F028	クスノキ	177	28.0	
F006	エノキ	770	57.7	▼	F029	センダン	663	67.5	地面上
F009	クヌギ	71	9.9	古い札タマフシ	F030	マグワ	1043	292.8	▼
F011	ムクノキ	985	191.9	▼	F031	エノキ	282	24.0	
F012	サクラsp.	810	202.1	▼一部枝に菌類	F032	クヌギ	102	18.2	F009nを改番
F013	クヌギ	1320	154.4	▼	M002	クヌギ	598	75.0	2020/1/11移植
F014	クヌギ	1209	168.7	▼	M004	エノキ	581	96.8	2020/1/11移植イラガ跡
F015	クヌギ	87	14.1	さけている	M006	エノキ	210	34.0	2020/1/11移植
F016	アキノレ	154	9.8	札付替え	M008	エノキ	625	65.0	2021/1/9測定開始
					M009	クヌギ	173	19.1	2023/7/1測定開始



図面・写真等 添付面

日時	2025年 5月 3日 (土)	記録者	柗元慶子
講座・活動名	実生林創生プロジェクト		



実生林：カモジグサ、カラムシ、ヤムグラ、ヤブジラミなどの下草が伸びている



実生林：夏になると花を終えた野草は枯れ、さらに緑陰が深く、新たな野草は生えにくくなるだろう



雑木林：林内の通路は涼しげな緑陰になってきた
下草も伸びているがやがて枯れてなくなるだろう



雑木林：葉が展開し、美しい緑の林になっている



実生林西端の竹柵：タケマバチ(外来種)が営巣していた
襲ってこないが、穴に指を入れると刺すことがある



朽ち木ビオトープ：積み上げた落ち葉は流れている
来園者らはクヌギ林に甲虫類が集まることを知っていた

日時	2025年5月3日(土)	記録者	北川ちえこ・西田敏子・林耕太
講座・活動名	実生林創生プロジェクト		

実生林

ハラビロカマキリの殻を2箇所見つけた。

草本：23種

アオカモジグサ2、アオスゲ2、アメリカフウロ1、アレチギシギシ1、イチゴツナギ2、ウマゴヤシ3、オヤブジラミ2,3、カラムシ1、カンサイタンポポ23、キュウリグサ2、クサイ1、シロザ1、スズメノエンドウ2、タチヌノフグリ3、ビル2、ヒナタノイノコヅチ1、ヒメオドリコソウ3、ヒメジョオン2、ヘクソカズラ1、ミドリハコベ3、ムラサキカタバミ1、ヤエムグラ3、ヨモギ1

木本：9種

アキコレ1,4、エノキ1、クヌギ4、クヌギ●1、コナラ●1、サクラ sp ●1、ニシキギ●1、マグワ2、ヤエヤマブキ●2

動物：1種

ハクセキレイ0声

実生林創生ゾーン

このエリアで初めてヤワラスゲを記録した。近くの野草広場にセリがあるのと同様に湿地造成の際に運ばれた土の影響が考えられる。

草本：31種

アオカモジグサ2、アメリカフウロ2、アレチギシギシ1、アレチマツヨイグサ、イチゴツナギ2、ウマゴヤシ3、エゾノギシギシ1、オヤブジラミ2、カスマグサ2,3、カタバミ2、カラムシ1、キュウリグサ2、コナスビ1、コハコベ2,3、コメツブツメクサ2、シロツメクサ1、スズメノエンドウ2、スズメノカタビラ2、セイタカアワダチソウ1、タチヌノフグリ3、ナズナ2,3、ヒメジョオン1、ヘクソカズラ1、ミドリハコベ2,3、ムシクサ2、ヤエムグラ3、ヤハズエンドウ3、ヤブカンゾウ1、ヤワラスゲ3、ヨモギ1、外来タンポポの一種2

木本：3種

アキコレ1,4、クヌギ4、コナラ1、

動物：2種

コガタリハムシ4、ムクドリ0声

雑木林

草本：31種

アオカモジグサ2、アオスゲ2,3、アメリカフウロ1、アレチギシギシ1、アレチヌスビトハギ1、イチゴツナギ2、イヌムギ2、ウマゴヤシ2,3、オオアレチノギ1、オヤブジラミ2,3、カタバミ1、カラムシ1、カンサイタンポポ2,3、キュウリグサ2,3、クサイ2、コナスビ1、コハコベ2,3、スズメノエンドウ2、スズメノカタビラ2、タチヌノフグリ3、ツユクサ1、ナギナタガヤ2、ヒナタノイノコヅチ1、ヒメオドリコソウ3、ヒメジョオン1、ヘクソカズラ1、ミドリハコベ2、ヤエムグラ3、ヤブカンゾウ1、ヨモギ1、外来タンポポの一種2,3

木本：7種

アキコレ1、エノキ1、クヌギ4、クヌギ●1、タチバナモドキ1、ニシキギ●0、落葉、ムクノキ1

動物：2種

キビタキ4、スズメ4



No.1 ネムノキ：2018年台風21号で折れ、根上りした際、根が白絹病とおぼしき菌糸に覆われていたが、株を掘り出さずに埋め戻された。その後、ひこばえが伸びてきたが、元の幹に腐朽菌が入ってきたと思われるので、倒れないよう要注意



カワチシャ：蓮田南側の畔で咲いていた大阪府準絶滅危惧種。葉に明瞭な鋸歯があり、特定外来のオオカワチシャと区別できる